

「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」 中間評価結果

大学名	立命館大学
-----	-------

(総括評価) A	これまでの取組状況を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	<p>立命館大学においては、本取組の実施に際して、部局の独自性と本部の国際戦略推進機能について、学長のリーダーシップの下に調和させて行っており、外部評価委員の毎年度末の評価等、事業の評価体制も整備されている。</p> <p>また、英語による授業については、多くは計画通りに進められている。留学生受入れのための環境整備も進んでおり、海外事務所の活動も活発である。さらに、グローバル30に採択された近隣大学との連絡会を組織し、大学の国際化に向けて精力的に取り組んでいる点も評価できる。留学生受入れの目標達成状況も順調であり、外国人教員の採用数も目標値を上回る実績があがっている。</p> <p>なお、英語コースの運営については、計画に沿って進められているが、留学生の日本語能力取得に関しては、英語コースの設置趣旨に鑑み、留学生に過度の負担にならないよう配慮が望まれる。さらには、授業を担当する教員には効果的なFDを実施するなど、授業の質の確保にも常に留意することが必要である。</p> <p>海外大学共同利用事務所については、国際交流基金ニューデリー日本文化センター内に設置され、入学試験や留学説明セミナー開催等のため、他大学への共同利用が図られており、日本の大学全体の魅力を発信する活動に貢献している。</p> <p>大阪・茨木キャンパスの新設に伴う教育課程の見直し等を原因とする一部計画未達成の部分については、各段の努力により、速やかに遅れを取り戻すことが望まれる。</p>